

市民の声（2 月分）

意見 38	R7. 2. 5 袖ヶ浦市 市長 粕谷 智浩様 木更津-羽田空港線 高速バス減便に関する要望 平素より、袖ヶ浦市にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。 さて、この度、木更津-羽田空港線 高速バスにおきまして、減便が実施されましたことに対し、住民として強い懸念を抱いております。 袖ヶ浦市は、羽田空港へのアクセス時間の短さをアピールされており、その利便性に期待して移住してくる住民も増加傾向にあると感じております。しかしながら、今回の減便は、その利便性を大きく損なうものであり、市の姿勢と矛盾するものではないかと感じております。 昨今の公共交通機関における人員不足等の問題は理解できますが、現状においても、渋滞による遅延の影響で満席となり、乗車できない状況が頻繁に発生しております。このような状況下での減便は、空港利用者はもちろんのこと、地域住民の生活にも多大な影響を与えるものであり、改善を求めます。 つきましては、下記の事項について、ご検討いただきたく、要望いたします。 * 減便の見直し：減便前の運行本数に戻す、もしくは、市民の利用状況に合わせて、適切な運行本数を確保すること。 * 情報公開：減便理由や今後の対策について、市民に対し、分かりやすく説明すること。 * 市からの要請：袖ヶ浦市として、各運行会社に対し、減便の見直し、運行本数の確保、渋滞対策の強化などを強く要請すること。 * 運行会社との協議：市として、各運行会社に対し、市民のニーズや利用状況を踏まえた運行本数の見直しについて、積極的に協議・相談すること。 本件は、市民の生活に関わる重要な問題であり、早期の解決を期待いたします。 敬具
回答	R7. 2. 26 企画政策課 日頃より市行政に対し、ご理解ご協力をいただきありがとうございます。 ご提言いただきました内容について、回答いたします。 本市は、鉄道や高速バスを通じて、都内の主要駅や空港などからのアクセスが良好な位置にあり、特に高速バスにおいては、東京湾アクアラインの接岸地にも近接しており、これまでも便数や運行路線の増加などのサービスの充実に努めてまいりました。 しかしながら近年、コロナ禍における利用者の減少や、働き方改革関連法による労働時間の上限規制に伴い生じた乗務員不足など、バス事業者における経営状況も厳しさを増し、急なダイヤ改正や減便などが行われております。 今回の木更津羽田空港線の減便理由につきまして、運行事業者に確認したところ、共同運行を行っていた4社のうち1社が乗務員不足のため撤退することによる減便であるとのことでした。 本市といたしましては、これまでも利便性確保のため運行事業者との協議を行ってまいりましたが、改めて運行事業者を訪問し、高速バスの利便性確保について直接申し入れを行うとともに、今回ご提言いただいた内容も含め、対策等を要望してまいります。

	した。 特に、運行本数を復活することについては強く要望いたしましたが、現状乗務員不足のため、すぐに対応することは難しく、乗務員が確保された際には、復活を検討するとの回答でございました。 運行事業者に対しては、改めて関係市であります木更津市とともに要望書を提出する手続きも進めており、引き続き高速バスの利便性の確保について取り組んでまいりますので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。 この度は貴重なご意見、誠にありがとうございました。
--	--